

博士学位論文審査結果の概要

ふりがな	おおしま ちか
氏名	大島 千佳
学位の種類	博士（看護学）
学位記番号	博第2号
学位授与年月日	平成21年3月14日
学位論文題目	看護実践へ向けた新しい温罨法の開発 － 血流促進効果および睡眠促進効果に着目して－
審査委員	主査 石川県立看護大学 教授 牧野智恵 副査 石川県立看護大学 教授 今井美和 副査 石川県立看護大学 教授 藤本悦子

本論文は、看護実践に向けて、新しい足浴法を提言し、また足浴に代わる温罨法用具を開発し、さらに、その効果を検証するものである。論文は3つの研究を軸に、全5章から構成されており、審査の結果は以下のとおりである。

第Ⅰ章では、従来の研究および問題点を整理して、本論文の目的を明確にしている。

第Ⅱ章は、「片足足浴による対側下肢への循環促進効果」をテーマとした研究について述べたものである。これまでの足浴では、片足だけでも実施するという着想が乏しく、その効果については十分に知られていなかった。本研究によって、対側下肢の皮膚表面温度および皮膚深部温度が上昇し、また皮膚血流量が増加するという効果があることが明らかになった。さらに、効果が現れる最適な時間も明らかにされた。本研究の成果は、両脚を湯に浸せない場合の、患側下肢の血流を促す看護として応用される可能性があるものである。

第Ⅲ章は「下肢ホットパック温罨法の開発と生理的効果の検証－片足足浴との比較－」をテーマとした研究について述べたものである。注目されたことは、安価で施行が簡便な温罨法として、ホットパックを開発したことである。このホットパック温罨法には、健側下肢のみへの局所的な施行でも、足浴に匹敵する循環促進効果があることを、客観的指標を用いて検証している。

第Ⅳ章は、「下肢ホットパック温罨法が施設入所高齢者に与える影響」をテーマとした研究について述べたものである。第Ⅲ章で作成したホットパックによる温罨法を、高齢者に8週間実施し、その効果を、アクチグラフとサーモグラフィーを駆使して検証した。その結果、高齢者の寝つきがよくなり、また睡眠の質が向上することが明らかになった。高齢者を対象としたこのような研究は斬新であり、他に例をみない。ホットパック温罨法は、睡眠障害を来しやすい高齢者の看護として有用なものと考えられる。

第Ⅴ章は総括であり、本論文の結論と、本研究で得られた成果についてわかりやすく示すとともに、今後の展望が述べられている。

本研究は、看護学の発展に大きく寄与すると考えられる。

以上の結果、本論文は博士（看護学）を授与することに値するものであり、論文審査ならびに最終試験に合格と判断した。